メディア表現|||3.カット編集・トランジション

1

目次

- カット編集・トランジション
 - ツールについて
 - やってみよう01
 - トランジション
 - 他の簡単なトランジション
 - ∘ カット編集応用
 - Jカット・Lカットとは?
 - やり方を見てみましょう
 - 操作方法だけ
 - まとめ

前回のおさらい

- プロジェクト・データ管理(フォルダにまとめろ!)
- ワークスペースとパネル
- シーケンスとコンポジション(設定)
- 書き出し

について学びました。

読み込みからシーケンス作成まで

昨年のアップデートにより、読み込みフローが代わり、次のような作業の流れが推奨されて いるように見えます。

1. 新規プロジェクト作成

2. 読み込むメディアの選択

3. 選択された動画が並んだシーケンスが自動で生成

となります。ちょっとやってみます。

右上の「コピー」を使うと、作業フォルダにコピーしてきてくれるみたいです。

ビン

右上に「新規ビン」って言うのがあります。ビンも初めてかもしれません。 素材を管理するフォルダのようなものです。Finderのフォルダとは別管理となります。 ちょっとやってみます。

便利なのか?

自動で動画を並べてくれたシーケンスって言うのは本当に便利なのでしょうか?

複数選択して、勝手に並べてくれるわけで、動画の順番はファイル名順とかになってしまい ます。

と思って、ファイルをクリックで一つずつ追加すると、その順番に並んでくれました。(下の サムネイルの入れ替えはできない)

でも、映像編集の時に、

- 使う素材しか素材フォルダにない
- 順番が決まっている

以外だと、そんなにメリットがなく、結局最初から自分でシーケンスに配置しそうな気もし ます。

他の意図があるのか?

後述しますが、読み込み・編集を行き来しやすいインターフェイスになっているので、これ で追加していくのか、とも思いましたが、新しいシーケンスができるだけでした。

とりあえず読み込みはこの辺で終わり次に行きます。

アップデートによる設計思想について

つまり設計思想が変わって,

1. 最初に読み込むよね

2. いろいろ編集作業するよね

3. 色んな編集方法あるからワークスペース切り替えるよね

4. 最後書き出すよね

と言うのをインターフェイスとして明確にしたと考えられます。

ワークスペースの切り替え

これまでに比べると、

- ワークスペースアイコンをクリックしてメニューを表示
- ワークスペースを選択

と2クリック必要となります。

1クリックで切り替えたいと言う人は、「ワークスペースタブを表示」とすることでこれまで と同様に扱うことができます。

クイック書き出し

右のアイコンの真ん中はクイック書き出しとなっています。

とりあえずちょっと書き出したいときにはここからプリセットを選択して書き出せばOKと言うことになります。

- 保存場所の設定
- プリセットの選択

だけですので、名前の通り手軽に書き出すことができます。

書き出し???

では、左の書き出しでは何ができるのでしょうか?

これは、従来のファイルメニューから「書き出し」「メディア」としても同じ画面になりました。

左にたくさん並んでますね。このswをONにすることで、

- YouTubeに直接書き出し
- メディアに書き出すと同時に、YouTubeにもアップロード

何てことができるようです。

(前からできたみたいですが、見えづらいところにありました)

裏技?

そして、このメディアファイル等は複製することができます。

この間

- H.264
- H.265
- ProRes422HQ

あたりを覚えておけば良いと言いましたが、それを同時に書き出すことができてしまいま す。

Media Encoder???

あれ?右下のボタンが「書き出し」が青になっていて、「Media Encoderに送信」が地味に なってます。これは、MediaEncoder使う必要ないのでは?と言うメッセージに今のところ思 えます。

実際、プリセットは最初数が少ないですが、「その他のプリセット」でMediaEncoderでしか 選べなかったものが選べるようになっています。

そもそも、前は

1.形式

2. プリセット

の順に設定していましたが、プリセットの中に形式が来ています。

新機能まとめ

ちょっと時間があれば、触って確認してみましょう。

まだ2年生だとそんなに触ってないので、よくわからないと思いますが、これはかなりの大きな変化で詳しく覚えてないけど10年ぶりくらいのリニューアルじゃないかと思います。

カット編集・トランジション

今日の本題に入ります。

ツールについて

1年の時には選択ツールを使ってクリップを長くしたり短くしたりして編集することを学んだ と思います。

編集ポイントのツールとして

- リップルツール
- ローリングツール
- スリップツール
- スライドツール

の4つがありますので、ちょっと見てみましょう。(頭から見てもいいです)

• 【初心者向け】まずはここから!編集ツールの使い方を解説します

やってみよう01

1.今日のプロジェクト用のフォルダを作成する(mr3_03等)

2. Premiereで新規プロジェクト作成

3. サンプルメディアから5秒以上のものをクリックで3つ選択

4.作成

5. 選択ツールを使って、1,2秒くらい重なるように2,3番目をずらしましょう。

今日のサンプルデータはassetsフォルダに入っていませんが、それでよしとします。 作業フォルダまで持ってきたい人は、「コピー」をONにしてください。

クリップの間にリップルツールを持って行って、左右にずらしてみよう

クリップの間のほんの少し左か右にするとマークが変わります。そこでドラッグすると、イン点・アウト点を変更することができます。トータルの尺が変更されます。

クリップの間にローリングツールを持って行って、左右にずらしてみよう

編集ポイントが移動し、前の映像は長くなり、後の映像は短くなります。トータルの尺は変わりません。

クリップをスリップツールで左右にずらしてみよう

クリップの尺は変えずに、イン点・アウト点を変更することができます。

真ん中のクリップをスライドツールで左右にずらしてみよう

トータルの尺は変更されず、真ん中のクリップの位置が移動します。

ポイント!

これは、配置されたクリップの素材の前後に余裕がないとできません。 最初に「1,2秒くらい重なるように」と言ったのはそう言う理由です。 基本的には

• 素材のどこを使う?

と言うのを変更するためのツールですから、素材がない部分には利用できないと言うことで す。

参考:編集ポイントに関連した4つのツールの使い方

トランジション

基本的なトランジションの使い方は

クリップの間を右クリックして、「デフォルトのトランジションを適用」

でしたね。適用した後に、さらに右クリックで秒数指定もできました。

他の簡単なトランジション

1. ウィンドウからエフェクトパネルを開きましょう。

2. ビデオトランジションを開いて適当に選んで、クリップとクリップの間にドラッグ&ドロ ップ

たくさん種類あるので、説明はしません。

Premiere Proで使えるビデオトランジションのサンプル一覧

カット編集応用

カット編集は、徐々に切り替わることなくパッと映像が切り替わることを指しますが、いく つもテクニックがあり、その中でも今日はJカット,Lカットについて紹介しようと思います。 参考:カット編集とは?コツ3つとすぐに使えるテクニック9選を解説 参考:9 Cuts Every Video Editor Should Know | Filmmaking Tips

Jカット・Lカットとは?

2つの映像と音声のカットする位置をずらすテクニックになります。

- Jカット: 次のクリップの音声が先に聞こえて、映像が後から現れてくる
- Lカット: 次のクリップの映像が先に見えて、音声が後から聞こえる

JカットとL カットでシーンを繋ぐ

やり方を見てみましょう

How to Edit Video with the J-Cut and L-Cut in Premiere Pro (MUST KNOW)

操作方法だけ

今日の映像だと、音がないので厳密な意味では体験できませんが、操作方法だけ伝えておき ます。

- ローリングツールで、普通に左右に動かすと、映像も音声も同じ動きをする
- Optionを押しながらローリングツールだと、映像か音声だけ移動できる

これにより、Jカット・Lカットは簡単に行うことができます。

まとめ

最終的に魅力的な映像になれば良いわけですが、様々なテクニックが存在します。 普段から、映像を見る時に、「あ、こんな編集してる!」と気を付けてみるようにしましょ う。